琉大病院 HOTLINE

University of the Ryukyus Hospital

健康と元気のある
社会をめざして

第73号

令和２年３月13日
発行
附属病院広報委員会

皆様の情報誌です。ぜひ、ご家庭にお持ち帰りください。http://www.hosp.u-ryukyu.ac.jp/

大屋　祐輔

病院長

巻頭の挨拶

「新しい年を迎えて：4月1日より“琉球大学病院”となります」

令和２年、そして東京オリンピックの年が始まりました。少し時間が経ってしまいましたが、新しい年を迎えてのご挨拶をさせていただきます。

少子高齢化社会を迎えている我が国では、人口減の地域での医療体制提供のありかた、増大する医療や福祉の予算、医師不足と医師偏在など、医療に関するいろいろな問題が出てきています。人口減の地域では、病院の合併、急性期病床の削減、病院の機能分担などの変革が、待ったなしで行われるようです。しかし、沖縄は、他県とは違い人口が増加しているために、医療体制の縮小のような課題はなく、むしろ、高齢化を迎えて、医療需要に医療提供体制が追いつかないのではないかと心配されています。今でも、子供たちが元気に走り回る姿と、高齢者がしっかりと地域で活躍をしている姿の両者がみられるのが、沖縄の社会の特色だと思います。長寿が崩壊したとされていますが、沖縄の社会が廃れているわけでは全くなく、今後、ますます元気になっていく気がしています。私たち医療者も地域を守るというミッションを持ってはいますが、活力溢れる地域で、当たり前のように活動させていただいているのだと、むしろ地域に感謝しています。

さて、琉球大学は県民の期待を背負って1950年５月22日に首里城跡地に開学しました。今年で70周年を迎えます。Morrill法により設立された「ランド・グラント大学」のひとつであるミシガン州立大学の協力を得て、「ランド・グラント大学」の持つ「地域に根差し、地域のために」という精神を受け継ぐ大学としてこれまで成長してきました。琉大病院は、1970年に琉球大学附属病院として与儀にスタートして以来、琉球大学保健学部附属病院、琉球大学医学部附属病院と名前が変わりつつも、地域とともに歩んで50年が経ちました。つまり、50周年を迎えることになります。また、今年４月１日より、“琉球大学医学部附属病院”は“琉球大学病院”と名前を変えることになりました。大学本体に直接つながることで、これまでにも増して、医療安全を高めつつ、高度医療の提供を進めること、また、県民に親しんでもらうことなどが、その理由となっています。略称は、これまでと同じ“琉大病院”ですので、皆さんにとっては大きく変わる印象はないかも知れません。しかし、琉大病院職員一同、私たちの役割やミッションをより忠実に守り、より活動をバージョンアップして、県民とともに歩んでいきたいと思います。引き続き宜しくお願い申し上げます。

就任の挨拶　就任の挨拶

銘苅　桂子

周産母子センター教授

はじめまして。

琉球大学医学部附属病院周産母子センター教授を拝命いたしました、銘苅桂子と申します。

生殖医療の現場では、不妊に悩むカップルが、出口の見えないトンネルを抜けようと必死に頑張っています。腹腔鏡手術は小さな傷で子宮がんや子宮筋腫などを摘出することができ、術後の痛みの軽減、傷が目立たないと言った理由で、女性に優しい手術です。

周産期の現場では、ときに母親は命がけでお産に臨みます。一方で、女性の社会進出は、女性の生殖に関わる分野に歪みをきたし、症状は複雑化しています。正解を見極めるには、一人一人の希望に耳を傾け、最新のエビデンスと最良の技術を駆使したテイラーメイド医療が必要です。そして、そういった女性に寄り添い、治療を継続していくために、女性医師は大きな役割を果たしています。

しかしながら、大学病院という過酷な現場で、育児をしながら女性医師が仕事を継続するのは本当に大変なことです。治療に奮闘する彼女たちが、「過酷」を理由に立ち去ることがないよう、医療現場の働き方改革と教育の両輪で、共に成長していきたいと思います。

同時に、生殖医療・産婦人科内視鏡下手術のさらなるレベル向上と安全で満足度の高い周産期医療を提供できるよう、より一層精進して参ります。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

中央診療施設等の紹介　“からだに優しい治療（低侵襲治療）”

國吉　幸男

心臓血管低侵襲治療センター長　第二外科教授

医療の進歩は予想もつかないほどに急速に起こっています。多くの病気に対する治療法が開発されその効果が日々報告されています。しかしながら、その治療法は多少なりとも体全体には“害”を及ぼします。内服薬による副作用、手術での合併症等です。心臓の手術で言えば、心臓に到達するためには、皮膚を切開し、胸骨を縦に切開し、心膜を切開することが必要です。その作業を経たのちに、本番である心臓手術、すなわち弁置換術、バイパス手術、大動脈手術が行われます。上記の下線部分の作業が無ければ、合併症である難治性創傷、骨髄炎、縦郭炎の合併症は決して起こらないはずです。

では、これらの作業工程を回避するにはいかなる方法があるのでしょうか？それは心臓から出ている血管を逆に辿って、細い管（カテーテル）で心臓に到達する方法です。よく聞く、カテーテル治療です。動脈、静脈は原則すべての臓器と繋がっています。したがって、あらゆる臓器の治療がカテーテル治療で完遂出来るはずです。現時点では、冠動脈狭窄、大動脈瘤、脳動脈瘤等に対するカテーテル治療が行われてきています。最近のトピックは心臓弁に対するカテーテル治療が開発され、当琉大病院でも通常治療として行われており、通常の心臓手術に耐えられない患者が大きな福音を得ています。

心臓血管低侵襲治療センターは、“からだにやさしい治療（低侵襲）”を、各科横断的に且つ集中的に行うことを目的として昨年９月に組織・設立しました。世界的にこのカテーテル治療は医療の大きな潮流であります。今後とも、どんどんこれら最新治療を取り入れ、ないしは自ら開発して医療の発展に貢献していく所存です。

トピックス

国内大学病院初　ＥＳＭＯ－ＤＣに施設認定されました
（＊ESMO：European Society of Medical Oncology；欧州臨床腫瘍学会）

2019年9月29日、琉球大学医学部附属病院は、国内の大学病院として初めてESMO-DCに認定されました。

“ESMO-DC”（European Association of Clinical Oncology - Designated Center）とは、2003年から「がん治療」と「緩和ケア」との統合を高いレベルで実践している医療機関に対して欧州臨床腫瘍学会が認定する世界中で注目されているプログラムで、現在、世界41か国で約200施設が認定を受けています。わが国では、がん対策推進基本計画（第2期：2012年）の中で「がんと診断された時からの緩和ケアの推進」が提言されており、がん治療の早期からの「緩和ケア」が求められています。その実現に向け、わが国独自のプログラムがない中で、ESMO-DCを取り入れることはとても重要です。日本では2018年に3施設がESMO-DCに認定され、本院が国内4施設目の認定（大学病院としては初）となります。

ESMO-DCの施設認定には、施設の「規模」よりも「質」が重視されます。1つの施設内にすべての機能を揃えなければならないということではなく、各機能を提供できるように内部及び外部機関との適切な連携が評価されます。

県内の緩和ケア領域で“ALL OKINAWA”としての連携を進める活動の中核を担い、今回の施設認定に尽力した、中島診療教授（本院地域医療部）は、「“ALL OKINAWA”としての連携こそが、緩和ケア病棟を有しない本院がESMO-DCの施設認定として評価された理由だと考えており、また、この認定がゴールではなく、申請時に明らかになった改善点を一つ一つ解決しながら、沖縄のがん医療ならびに緩和ケアをより良いものにしていけるように県内医療機関や行政などと協力して努力を重ねていきたい」と抱負を述べています。

琉球大学医学部附属病院は、県内の緩和ケア領域における“ALL OKINAWA”の推進力として、より良質な緩和ケア体制の構築に取り組んでまいります。

〔本件についてのお問い合わせ先：琉球大学医学部附属病院　地域医療部　電話098-895-1331〕

ESMO-DC　認定証交付式（中央が中島診療教授）

大屋病院長にESMO-DC認定を報告する中島診療教授
（写真　左：中島診療教授　　右：大屋病院長）

表　彰　「看護QIチャンピオン賞」を受賞しました！

周産母子センター
看護師長　西　みゆき

看護部では、平成 25 年より一般社団法人日本看護質評価改善機構の「Web 版看護ケアの質評価総合システム」を導入し、看護の質改善に取り組んでいます。

この Web 版看護ケアの質評価は、看護ケア 6 つの領域を評価するもので①看護師の行った実際の看護ケア（過程）の評価、②看護師長による看護ケア提供のしくみ（構造）の評価と調査期間のインシデントの発生件数（結果）を Web 上で入力し、③患者さんには退院時にアンケート（紙面）で提供された看護ケアに対する満足度（結果）を回答いただくものです。

それぞれが評価したものを「構造」「過程」「結果」と合わせて分析することで改善点を的確に見出すことができる仕組みとなっており、その結果から自部署の課題を抽出し、今後の取り組みについて話し合い、看護の質のさらなる向上と継続に繋げています。

今回、平成 30 年度看護ケアの質評価・改善において最も高い評価を受け、日本看護質評価改善機構より「看護 QI チャンピオン賞」を頂きました。

過去 6 年間、継続して質評価の結果をスタッフ全員で共有し、強化したい項目と目標を掲げ、「誰が」「いつ」「どのような方法で」「どうする」など具体的な取り組みや患者さん個々の状況に応じた看護展開が十分できるリーダーや役割モデルナースの育成が今回の結果に繋がったと考えます。

スタッフ一同、関係各位の皆様へ感謝申し上げると共に、より一層、患者さん・ご家族・地域から期待される看護が提供できるよう質向上への取り組みを継続していきたいと思います。今後とも、看護の質向上にご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

イベント　令和元年度 院内ボランティア活動者と病院関係者との懇談会を開催

令和元年１２月１６日（月）に琉球大学医学部管理棟において、院内ボランティア活動者と病院関係者との懇談会を開催しました。

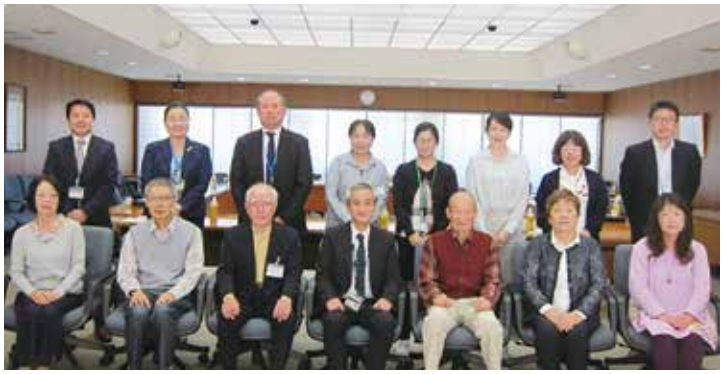
本懇談会は、本院で活動されているボランティア活動者へ感謝を表し、また、ボランティア活動者から病院へのご意見をいただく場として毎年開催しているものです。

懇談会では、大屋祐輔病院長からボランティア活動者へ、日頃の活動への労いと、本懇談会を機にボランティア活動者と病院とのより良い関係づくりについて期待が述べられ、ボランティア活動者からは、自己紹介と日頃の活動について一人ずつご挨拶をいただくなど、親睦を深めました。

本院でのボランティア活動者の日頃の献身的な活動が、病院運営の支えとなっています。

（本院でのボランティア活動に関するお問い合わせ先：医学部総務課総務第二係：098-895-1010/1083）

懇談会の様子



ボランティア活動者の皆様と病院関係者による記念撮影

イベント　「My Special Aflac Duck」贈呈式

令和２年１月22日（水）、琉球大学医学部管理棟３階大会議室において、アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏）から本院の小児科病棟に寄贈いただきましたアヒル型ロボット「My Special Aflac Duck」の贈呈式が執り行われました。

「My Special Aflac Duck」は、治療の辛さはもちろんのこと、同世代の子どもたちと同じように自由に遊んだりすることができないなど、さまざまな課題を抱える小児がんの子どもたちを応援するために米国で開発されたアヒル型ロボットです。

アフラック生命保険株式会社では小児がん支援に取り組んできた団体や病院への提供を開始しており、沖縄県では小児血液・がん専門研修施設として認定されている本院が選定されました。

災害訓練

「令和２年２月１３日（木）令和元年度災害訓練を実施しました」

令和２年２月１３日(木)に令和元年度災害訓練を実施しました。今年度は、沖縄県全域が震度６の地震を被災するという設定で、多数傷病者の受け入れの初動訓練を中心に、その後の対応について BCP（事業継続計画）机上訓練を行いました。

訓練では、本学の学生のほか、SOLA 沖縄学園や沖縄看護専門学校の学生に患者役として参加いただきました。

また、今年度から新たに、西原町役場、東部消防署と合同で災害用の無線機を用いて連絡を取り合う訓練や、沖縄病院、宜野湾記念病院、うえむら病院と合同で EMIS システムを利用した連携確認訓練を実施しました。

本訓練にご協力いただきました各機関の皆様におかれましては、この場を借りて改めてお礼申し上げます。

患者・ご家族の皆さんへお願い

現在、医師をはじめ、医療従事者の長時間におよぶ過重労働が大きな社会問題となっております。

このことを踏まえ本院では、患者さんへ提供する医療の質と安全を確保する観点からも、医療従事者が疲弊せずに働けるよう、時間外労働の縮減に取り組んでいます。

この取組のひとつとして、

緊急ではない場合の病状説明等は
原則、平日の診療時間内
８：３０～１７：１５

といたします。

今後も、病める人の立場に立った安心・安全で信頼される医療を提供することに努めて参りますので、皆さんのご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

琉球大学医学部附属病院

専門外来診療日割表

（受付時間　午前 8 時 30 分〜午前 11 時：予約がある場合は、その限りではありません。）　　令和＊年＊月＊日現在

診療科	専門外来	月	火	水	木	金	備考
第一内科	感染症内科	●	●		●	●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
	呼吸器内科	●	●		●	●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） 肺腫瘍：火・金曜日 （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
	消化器内科（消化管）	●	●		●	●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る）（院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約） 糞線虫外来：木曜日
	〃（肝臓）	●	●		●	●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
	〃（胆道・膵臓）	●					新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
第二内科	膠原病・リウマチ内科		●	●			新患は要紹介状、院外は要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
	血液内科（骨髄移植外来含む）		●	●		●	
	成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)外来		●			●	
	肥満症（生活習慣病）		●	●		●	
	糖尿病・代謝内科	●	●	●		●	糖尿病外来は専用フォーム有 （月曜日は、院内入院糖尿病患者の紹介のみ）
	インスリンポンプ外来（CSII/SAP）	●	●				
	内分泌内科	●	●	●		●	
	骨粗鬆症・男性更年期(LOH)		●	●			
	女性医師による女性外来	●	●	●		●	
第三内科	脳神経内科	●		●	●		新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
	高血圧・腎臓内科	●		●	●	●	
	高齢内科			●	●		
循環器科	循環器内科	●		●	●		新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
第一外科	上部消化管外科	●		●			新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約） （乳幼児、学校健診も含む）
	下部消化管外科肛門外科			●	●		
	新患・肝胆膵			●			
	肝胆膵外科	●			●		
	乳腺・甲状腺外科	●		●			
	小児外科	●		●			小児外科は午後のみ
第二外科	呼吸器外科		●		●		新患は要紹介状 呼吸器外科：原則要予約（医療福祉支援センター・内線 1371 で予約） 院内紹介は事前に電話相談
	心臓血管外科		●			●	
	ステント外来		●			●	
	血管外科		●		●	●	血管外科：原則要予約（医療福祉支援センター・内線 1371 で予約） 木曜日は、再来予約のみ
脳神経外科	一般・腫瘍	●		●		●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る）
	脳血管障害	●		●		●	他院・他科からの紹介・予約患者は 10 時〜 11 時に受付 院外からの紹介は医療福祉支援ｾﾝﾀｰ・内線 1371 で予約、 院内からの紹介は脳外科外来受付（月・水・金）内線 1307 で予約 緊急を要する患者は医局 1171 または病棟 3801 へ連絡し当日の当直（担当医）が対応します。
	新患・再来	●		●		●	
	神経心理	●		●		●	
	ニューロリハビリ	●		●		●	
整形外科	脊椎・脊髄	●		●		●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約） ※手外科外来は、午前のみ
	手外科	●		●		●	
	リウマチ	●		●		●	※リウマチエコー外来は、（月）午前のみ ※水曜日のリウマチ外来は、午後予約のみ
	骨・軟部腫瘍			●		●	
	股関節			●		●	
	膝関節（スポーツ）	●		●			
	肩関節（スポーツ）			●		●	※肩関節（スポーツ）は午後のみ
	骨粗鬆症	●		●			
	小児整形			●		●	※乳児股関節の精密検査は要予約　整形外来内線 1301 で予約
形成外科	新患・一般再来		●		●		新患は要紹介状 ・眼瞼下垂は、火曜日　　・リンパ浮腫は、木曜日 ※形成一般外来は、令和 2 年 2 月から開始
	※形成一般（午後）	●					
	再建外来（術前）（午後）				●		
	※リンパ浮腫外来（午後）				●		※リンパ浮腫外来は、第 1 から第 4 木曜日のみ
	耳のかたち外来（午後）				●		・耳のかたち外来は、第 2、第 4（木）のみ
産科婦人科	新患	●		●		●	【婦人科・生殖不妊・内分泌・骨粗鬆症】 新患は、要紹介状・要予約　（院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線１３７１で予約）
	産科	●		●		●	
	婦人科	●	●	●	●	●	【産科】紹介状有りが望ましいが、科の特殊性として紹介状なしでも診察します。
	生殖不妊・内分泌・骨粗鬆症	●		●		●	※火曜日・木曜日：予約再来のみ
小児科	新患・一般再来	●		●	●	●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
	腎臓	●			●		
	アレルギー	●					
	内分泌			●	●		
	遺伝・先天代謝異常			●			小児循環器専門医は不在
	神経	●			●		
	新生児	●				●	
	血液（移植外来）			●		●	
	膠原病	●				●	
	長期フォローアップ外来					●	※第 2、第 4 週　金曜午後（院内患者のみ）
皮膚科	皮膚科		●		●	●	新患は要紹介状
	皮膚外科		●		●	●	
	乾癬		●				
	強皮症・皮膚筋炎		●		●		
腎泌尿器外科	腎泌尿器外科	●	●			●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は、医療福祉支援センター・内線 1371 で予約）
	再来	●	●			●	
	小児泌尿器外来	●					小児泌尿器外来：月曜日午後（予約再来のみ） 〃　：金曜日午前（新患のみ）
	腎移植外来（午前　新患）	●					腎移植外来：午前は新患のみ、午後は再来
	腎移植外来（午後　再来）	●	●				
耳鼻咽喉科	新患	●		●	●		新患は要紹介状 院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
	甲状腺・頭頸部腫瘍	●		●	●		
	鼻副鼻腔・アレルギー	●		●	●		
	中耳炎・難聴・めまい・顔面神経	●		●	●		

次ページに続く

専門外来診療日割表

（受付時間　午前８時30分～午前11時：予約がある場合は、その限りではありません。）　　平成＊年＊月＊日現在

耳鼻咽喉科	人工内耳			●			
	幼児難聴・補聴器	●		●	●		
	口腔咽頭・唾液腺	●		●	●		
	音声・嚥下	●		●	●		
	頸部エコー外来	●		●	●		
	アレルギー・免疫治療外来				●		アレルギー・免疫治療外来：予約再来のみ
眼科	緑内障	●		●			新患は予約制・要紹介状
	小児眼科			●			
	網膜硝子体		●		●		
	角膜	●					
	神経・腫瘍・ぶどう膜	●		●			
精神科神経科	新患		●		●	●	新患は予約制 （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約） （医療機関からの申込みに限る） （院内他科通院中の方は当科外来受付・内線1306で予約） ※紹介状も必要です。 「光トポグラフィ外来」の予約、申込みは紹介元医療機関から医療福祉支援センターFax（098-895-1498）にて
	一般再来		●		●	●	
	児童・思春期外来	●					
	光トポグラフィー外来	●	●		●	●	
	睡眠外来					●	
認知症疾患医療センター	もの忘れ診断外来		●			●	新患は要紹介状 原則予約制。予約は認知症疾患医療センター：895-1765
放射線科	放射線診断・IVR			●		●	**新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る）** （院外からの紹介は医療福祉支援センター内線1371で予約） **他院画像読影依頼は、放射線科医のいない医療機関の取り込み画像のみ可（フィルムは不可）** ※月曜日は緩和治療中心。要事前連絡、院内紹介のみ （連絡先：① 4255　② 4571　③ 4862） 重粒子線治療相談外来は水曜日のみ
	CTガイド下・PVP			●		●	
	甲状腺・RI			●			
	放射線治療	●	●	●		●	
麻酔科	麻酔科	●		●		●	新患は要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター内線1371で予約）
	ペインクリニック	●		●		●	
歯科口腔外科	新患・一般外来	●	●	●	●		新患は要紹介状 新患・一般外来：月～木曜日
	口唇・口蓋裂	●					
	顎変形症	●					
	腫瘍	●	●		●		
	口腔ケアセンター	●	●	●	●		
リハビリテーション部	リハビリテーション科	●	●	●	●	●	・リハ新患は、月～金（月曜日は検査優先・金曜日は要電話） リハ対象者は、入院患者のみ。以外は電話で要相談。 ・痙縮治療外来：第１・３金曜日の午後（院内紹介のみ）
	心大血管リハ	●	●	●	●	●	・心大血管リハ新患は、院内入院患者のみ。（月～金）
高気圧治療部	高気圧治療部	●	●	●	●	●	新患は要紹介状・要連絡・要胸部XP(3ヶ月以内)(内線3290・4732)
血液浄化療法部	血液浄化療法部	●	●	●	●	●	土曜日、祝日通常体制 夜間・日曜日はオンコール体制
地域医療部	地域医療部	●	●	●	●	●	※新患は原則要紹介状
総合診療センター	総合診療科部門	●	●	●	●	●	総合診療科部門は午前のみ　※外来患者のみ ※新患は原則要紹介状
	禁煙外来		●	●		●	火・水・金曜日の午前中・予約制 ※当院通院中の外来患者のみ
	漢方外来					●	第３金曜日の午後のみ　※事前予約が望ましい
	ワクチン外来（感染対策室）		●			●	火・金曜日の午後のみ（インフルエンザワクチンを除く） 予約制。総合診療センター・内線1310で予約 （予約受付時間：月～金曜日の14時～16時まで）
がんセンター	緩和ケア外来（身的緩和部門）	●	●	●	●	●	新患は要紹介状（火・木曜日は予約制）
	緩和ケア外来（精的緩和部門）		●		●		
	がん看護外来	●	●	●	●	●	月・火・木・金曜日　（12：00～16：00）水曜日　（12：00～14：00） 内線4766で予約
救急部	救急部	24時間診療					

本院の理念及び基本方針

理念

病める人の立場に立った、質の高い医療を提供するとともに、国際性豊かな医療人を育成する。

基本方針

1. 生命の尊厳を重んじた全人的医療の実践
2. 地域における保健・医療・福祉の向上に対する貢献と関係機関との連携
3. 先端医療技術の開発・応用・評価
4. 国際性豊かな医療人の育成

患者さんの権利と責務について

琉球大学医学部附属病院では、患者さんを中心とした「安全・安心・思いやり」に基づくより良い医療を目指しております。患者さんとの深い信頼関係の上に成り立つ医療の大切さを十分に理解するとともに、患者さんには一人一人に次のような権利と責務があることを確認いたします。

●患者さんの権利●

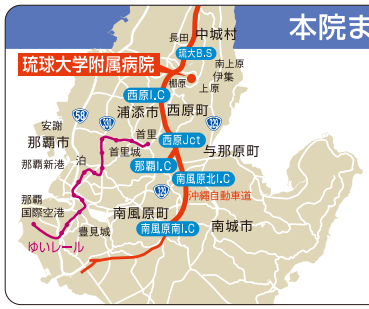
1. あなたは、どんな場合でも、一人の人間として大切に扱われる権利があります。
2. あなたは、どのような境遇、環境であっても、専門家による平等で良質な医療を受ける権利があります。
3. あなたは、病気のことや治療について十分に教えてもらう権利があります。
4. あなたは、治療について意見を述べる権利と選択できる権利があります。
5. あなたは、あなた自身の話したこと、病気、身体について、知られたくないことを守られる権利があります。

●患者さんの責務●

1. 最善かつ適切な診療を行なうために、あなた自身の健康状態についてできるだけ正確に伝えてください。
2. 主治医や担当医の治療や退院計画に主体的に取組み協力してください。
3. すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、病院の規則に従い、医療の妨げとならないように協力してください。特に攻撃的な態度や暴言、乱暴な行為は謹み、施設の所有物を大切に使うようにしてください。

平成22年8月制定　平成29年2月13日一部改正

本院までの交通機関



●那覇バス
所要時間:那覇バスターミナルより本院まで約50分

97番 琉大線

経路:那覇バスターミナル～牧志～儀保～琉大病院前～長田～中部商業高校前～琉大北口

タクシー・乗用車での所要時間
●那覇市街より約25分　●沖縄市街より約20分
●那覇空港より約35分　●モノレール首里駅から10分
※モノレール儀保駅からバス（97番）で30分

附属病院ホームページが携帯サイトからも閲覧できます。

携帯用QRコード
au　docomo　SoftBank

ボランティア募集

本院では、一般の方からの病院ボランティア(外来ロビーでの案内・補助等)を広く募集しております。
空いている時間を利用して、一緒に参加してみませんか？
まずはお気軽にご連絡ください。
【連絡先】総務課（098-895-3331（内線：1006）

琉球大学医学部附属病院

http://www.hosp.u-ryukyu.ac.jp/

電話（098）895-3331（代表）
医療福祉支援センター(内線1371)
〒903-0215 沖縄県西原町字上原207番地